

# 省亭畫數

逐次刊行

故容齋翁の遺稿を傳へて更に一家の編輯を出したる  
 斯道の大家渡邊省亭氏虎を描けば風趣が龍を描けば  
 雲從ふ花并百鳥其圓する所の物悉く天賦の神應する  
 かと怪しむる然る處に先生に乞ひて美術世界の編輯  
 を托し大いに美術界の賜栄を得たりしが彼れ故人  
 今大敷十氏の遺稿を廣く採りたるものにして更に先  
 生の少の遺稿にたるは尙廿五卷花鳥の卷なりとす  
 數畫探ぐ之を遺稿とて感いて先生を乞ひて故容齋  
 遺稿を刊して先生の遺稿を收録して後刊せんとす印  
 刷形別元より天下の名手と稱せられたれば其の出づる  
 の日は江國を益かす事手古に傳ならん。

明治三十年九月廿一日印刷

同 年九月廿六日發行



編輯兼發行所  
 東京市日本橋區通四丁目五番地  
**和田篤太郎**

印刷者  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目廿三番地  
**佐久間衡治**

發行所  
 東京市日本橋區通四丁目五番地  
**春陽堂**  
 (本局電話五十二番)

印刷所  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地  
 株式會社 **秀英舎第一工場**  
 (電話本局十九番)

實價金拾五錢